

■NHKの不当労働行為確定

労働組合との団体交渉を拒否したことを「不当労働行為」と認定した中央労働委員会（中労委）の判断は不当として、NHKが取り消しを求めた訴訟で、最高裁第2小法廷（鬼丸かおる裁判長）はNHKの上告を退ける決定をした。10日付。中労委の判断を妥当とした一、二審判決が確定した。

判決によると、集金などを担当する地域スタッフでつくる全日本放送受信料労働組合南大阪支部が2011年、団交を申し入れたが、NHKは応じなかった。組合の救済申し立てを受けた大阪府労働委員会が13年に不当労働行為と認定し、中労委も15年、この判断を支持した。

NHK広報局は「最高裁の決定を踏まえ、真摯（しんし）に対応する」としている。

■IBM社員、賃金減額で提訴

日本IBM（東京）が低い評価をつけた社員の賃金を大幅に減額しているのは違法だとして、社員11人が12日、同社を相手取り、減額の撤回と減額分の総額約3千万円の支払いを求める訴訟を東京地裁に起こした。

訴状などによると、同社は2010年に給与に関する規定を改正し、業績や技能が著しく低いと判断した場合には社員の賃金を減額できると定めた。これに基づき、原告の大半は年7%減らされ、最大で年15%減額された人もいるという。同社広報は「訴状が届いていないため、コメントは控えたい」としている。

同様の訴訟はほかに2件あり、同社はともに和解などに応じ、減額分を支払うなどしている。